



令和6年12月2日

報道関係各位

～豊富な民間経験を最大限活用し、市の新たな産業戦略を展開～

「産業戦略官」に 後藤 裕太(ごとう ゆうた)氏 を登用

- ◇本市では、「産業戦略官」の採用に向け、エン・ジャパン（株）が展開する「ソーシャルインパクト採用プロジェクト」を活用し、正規職員の採用としては初の試みとなる公募を行った。
- ◇エントリー総数 175 件。録画面接や WEB 面接、対面面接等の厳正な選考の結果、広告業界・IT 業界の豊富なキャリアと、戦略の計画力やスピーディーな実践・実行力を持つ、後藤裕太 氏 の登用が決定した。

1 産業戦略官の概要

役職名	産業戦略官(部長級) ※初めて設置した役職
採用人数	1人
任用期間	2024年(令和6年)12月1日～2027年(令和9年)11月30日 3年間
主な ミッション	(1)第3次産業の誘導・誘致、第2次産業の企業誘致 (2)ベンチャー・スタートアップ等の新産業の育成及び企業間連携活動 (3)産業部の中堅・若手職員の人材育成
雇用形態	袋井市一般職の任期付職員として、正規職員の身分を付与

2 産業戦略官プロフィール

後藤 裕太 (ごとう ゆうた) <54歳> ※昭和45年8月生

<主な経歴>

- ◆ JTBで国際会議、外資系企業のインセンティブイベントの営業、誘致、運営に従事。
- ◆ (株)東北新社で広告のプロデューサーとしてナショナルクライアントの年間広告を企画・プロデュース。
- ◆ デジタルエージェンシー(株)IMJで事業部長及び映画製作プロデューサーを経験。
- ◆ ITベンチャー3社でメディア事業の事業部長、COO、デジタルマーケティング事業本部長などを経験。



【後藤戦略官コメント】

袋井には磨けばさらに光るものがたくさんある。“儲かる市”の実現に向け、企業誘致やスタートアップ推進などのミッションとともに、袋井にある既存の地場産品（お茶やクラウンメロンなど）におけるブランディング化にも取り組んでいきたい。

【大場市長コメント】

民間的視点を袋井市に取り入れ、“儲かる市”を形にさせていただき取組に期待している。

企業誘致や市内既存企業の様々な支援・フォローに加え、スタートアップをはじめとした創業者への支援など、産業部長と連携しチームの一員として取り組んでいきたい。

本件担当

総務課 いきいき人材育成係 本多 電話:0538-44-3101
産業未来課 企業誘致係 藤城 電話:0538-44-3155

<Press Release 担当>

袋井市企画政策課シティプロモーション室 辻本 (電話 0538-44-3104)